

政策 06 市民協働による一人一人が主役のまちづくり

施策 01 人権尊重の推進



あるべき姿

市民がお互いの人権を尊重しあい、共に生きる社会が形成されています。

施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されている社会であると思う市民の割合（％）		対基準値	指標値の注釈															
	【やさしさ支援課】		☀️ (向上)																
指標の動き	後期基準値	60.7	<table border="1"> <caption>人権が尊重されている社会であると思う市民の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>60.7</td> </tr> <tr> <td>R04実績</td> <td>63.1</td> </tr> <tr> <td>R05実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R06実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R07実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R08目標値</td> <td>66.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	基準	60.7	R04実績	63.1	R05実績	-	R06実績	-	R07実績	-	R08目標値	66.0	対前年度	分析 評価 成果が向上した要因としては、人権週間パネル展や公民館まつりでのパネル展示などの新たな啓発活動及び、人権・男女共同のつどいをオンライン開催にするなど、市民への啓発が進んだものと考えます。
	年度	割合 (%)																	
	基準	60.7																	
	R04実績	63.1																	
	R05実績	-																	
	R06実績	-																	
R07実績	-																		
R08目標値	66.0																		
R04実績	63.1	☔️ (低下)																	
R05実績		目標達成度																	
R06実績		▬▬▬																	
R07実績		(高)																	
R08目標値	66.0																		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人権教育の推進と人権尊重意識の醸成

指標	人権を侵害されたと思う市民の割合（％）		【やさしさ支援課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	12.7		(向上)	
指標の動き	R04実績	11.3		対前年度	分析 評価 人権週間パネル展や公民館まつりでのパネル展示などの新たな啓発活動及び、人権・男女共同のつどいをオンライン開催にするなど、市民への啓発が進んだものと考えます。
	R05実績			(向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(達成)	
	R08実績				
	R08目標値	12.0			

基本事業01 人権教育の推進と人権尊重意識の醸成

指標	相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合（％）		【学校支援課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	88.1		(低下)	
指標の動き	R04実績	87.6		対前年度	分析 評価 学校の教育活動全体を通して、豊かな心を育む教育を推進していますが、家庭環境を含めた児童生徒を取り巻く様々な社会環境の影響が挙げられます。
	R05実績			(横ばい)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	91.4			

基本事業02 人権に関する相談・支援体制の充実

指標	人権相談件数（件）		【やさしさ支援課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	40		(比較不可)	
指標の動き	R04実績	23		対前年度	分析 評価 新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、人権相談を毎月開設できたことにより相談件数は増加したものの、依然として残る外出自粛の影響により相談件数が伸びなかったものと考えます。
	R05実績			(比較不可)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(---)	
	R08実績				
	R08目標値	40			

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	男女共同参画が実現されていると思う市民の割合（％）		【やさしさ支援課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	51.1		(低下)	
指標の動き	R04実績	50.8		対前年度	分析 評価 新型コロナウイルスの感染拡大が、女性の生活や雇用に大きな影響を与えており、男女共同参画の遅れが顕在化していましたが、令和3年6月の育児・介護休業法の改正に伴い、少しずつ男女共同参画の向上の兆しが見えてきたと考えられます。
	R05実績			(向上)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	60.0			